

第33期（2022年度）プロ・ナトゥーラ・ファンド助成 特定テーマ助成申請書

下記の通り、プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の特定テーマ助成①「絶滅が危惧される植物（種あるいは群生地）の保全に関する研究」を申し込みます。

日本語で、内容を簡潔に表現したものにしてください。

1. タイトル

〇〇湿原に生息する植物Xの生活史に関する研究

2. 申請団体

団体名	X研究グループ プロジェクトを行う団体の名前にしてください。大学名・学部名のみはNG。		
申請代表者 氏名	(フリガナ)シゼン タロウ	生年	
	自然 太郎	月日	
所属機関 ・役職	自然大学大学院自然研究科野生動物研究室 教授		
住所	〒 自宅か職場（または学校）の住所をお書きください。 いずれかに○→（自宅・○職場）		
電話	自宅・職場：連絡のつきやすい方の番号をお書きください。	携帯電話：	
e-mail	連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお知らせください。	URL	団体のサイトがある場合はURLをお書きください。

3. 研究テーマの種類（いずれか一つ選択してください）

- 植物の繁殖生態・生活史に関する研究
- 植物を取り巻く環境（土壌、水、気候等）に関する研究
- 訪花昆虫、種子散布動物、菌根菌など、植物と共生関係にある生物と植物との関わりに関する研究
- その他

4. プロジェクトの目的（200字程度）

本申請プロジェクトにおいて、どこの地域のどのような植物・植生の何を調べようとしているのか、目的を明確にお書きください。

例) 〇〇湿原に生息するXは、近年植生変化により群落が縮小している。発芽、開花、結実に至るまでの生活史に関する研究は、断片的には存在しているが発芽から結実に至るまでの一貫した生活史研究は行われてこなかった。そこで、本研究では、これまで蓄積されてきたデータの分析と、フィールドワークで得たデータの分析を行い新たな知見を得て、〇〇湿原における群落の保全に貢献することを目的とする。

5. 助成申請額

100 万円

支出計画書の金額から千円の位を四捨五入した金額をお書きください。千円・百円単位まで書かないでください。

6. 助成期間（いずれかに○をつけてください）

1年間 ・ ○2年間

2年間の研究でも、助成金額は100万円上限です。

査にのみ使用し、その他の目的では使適切に取り扱いいたします。

プロジェクト計画書（1）

1. 研究課題の自然保護上の重要性

(1) 本研究課題において対象とする植物種あるいは生息地域の自然保護上の重要性について、要点を200字程度で枠内にお書きください。

湿地帯に生息する植物Xは、絶滅危惧種には指定されていないものの、近年開発やシカ食害の影響を受けて植生が変化し、群落の縮小が確認されている。このため、・・・

文字のフォントを大きくしたり、太字にしたりして、本申請のポイントが一目で明確にわかるよう、適宜工夫してください。

(2) 本研究課題に取り組むこととなった背景をお書きください。

(3) 研究対象となる植物、地域の特徴等について、詳細をお書きください。可能であれば、研究対象地域の地図を添付してください。

Xは、◇◇から●●にかけて分布しているが、とりわけ○○湿原における群落の縮小が著しい。
○○湿原は、標高xxx mで、・・・地形は・・・であり・・・

地図

※注意※

- フォントサイズは10ポイント以上でお書きください。
- 枠の位置やサイズの変更はしないでください。また、ページ数を増やすことはできません。
- 写真や図の挿入は可能ですが、モノクロ印刷で審査に付されるため、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします。
- 字数制限はありませんので、ページ内であれば設問ごとに回答スペースを調整しても構いません。

プロジェクト計画書 (2)

2. プロジェクトの計画

(1) 本研究の具体的な到達目標についてお書きください。

本研究では、〇〇海域の〇〇を調べるため、2年間で以下の研究を行う。

【1年目】

目標① これまでに蓄積されてきたXに関する生活史のデータを整理する・・・

目標② フィールドワークを実施し・・・

【2年目】

目標①・・・

・・・

本プロジェクトの期間内における具体的な到達目標について具体的にお書きください。プロジェクトが2年間の場合は、1年ごとの目標をお書きください

(2) どのように上記の目標をクリアしていくのか、調査・研究手法をお書きください。

【1年目】

①に対して発芽特性の調査と開花特性の調査データをまとめる・・・

②に対して・・・

どのような方法でデータを取得し、分析し、問題を解決するのか、お書きください。

【2年目】

①に対して・・・

(3) 予算計画について、特記すべき点があれば、お書きください。一つの費目への比重が大きい場合などは、説明してください。

調査地までの旅費の出費が多い。

(4) 調査・研究体制や構成メンバーの専門性などについて、特記すべき点があれば、お書きください。

調査には植物生態学研究室の学生が補助メンバーとして加わる。

- (3) と (4) の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。そのぶん (1) と (2) の回答スペースを広げてお書きいただいても構いません。
- ただし、ページ数は増やさないでください。

プロジェクト計画書 (3)

3. 期待される成果

(1) 本プロジェクトでどのような成果が期待されるか、要点を100字程度で簡潔にお書きください。

本研究でXの生活史に関する詳細情報を得ることで、具体的な保全策を提案することができ、群落の回復に貢献することができる。

こちら、フォントや文字の大きさを工夫して見やすくなるようにしてください。

(2) 本プロジェクトは、助成期間終了後どのような自然保護研究、あるいは自然保護活動に展開していくのかについて、具体的にお書きください。

本研究で得られた成果は、一般向けのパンフレットにまとめ、普及啓発活動に役立てる。また、・・・

学会や論文で発表する、だけではNG。具体的に、成果をどのような自然保護研究や活動の分野に活用していくか、今後の研究にどのように活かしていくかについてお書きください。

年間スケジュール(1)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算 (円)
2022年 10月	情報の収集, 整理 ○○湿原に生息するXの生活史に関するアーカイブデータの整理	器具・備品の購入 200,000円 消耗品費 7,000円
11月		
12月	地域の自然保護団体とのオンラインでの情報交換	
2023年 1月	フィールドワークの準備	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>月をまたいで調査や分析の作業を行う場合は、↓でお示しください。 行の高さは変更して構いませんが、ページは増やさないでください。</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 5px;"> <p>大まかな支出概要で構いません。具体的な費目については支出計画書にお書きください。</p> </div>
2月		
3月		
【1年間プロジェクト】中間報告書の提出		
4月	第1回フィールドワークの実施	
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
【1年間プロジェクト】助成期間の終了／ 【2年間プロジェクト】中間報告書の提出		
10月		【1年間プロジェクト】成果発表会出席旅費※対面希望の場合計上してください。自己資金の場合は記載不要です。
11月	【1年間プロジェクト】成果報告書・会計報告書の提出	
12月		

年間スケジュール(2)

時期	内容とその詳細	助成金 支出概算 (円)
2024年1月		
2月		
3月		
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
【2年間プロジェクト】助成期間の終了		
10月		
11～12月	【2年間プロジェクト】最終報告書の提出	【2年間プロジェクト】成果発表会出席旅費※対面希望の場合計上してください。自己資金の場合は記載不要です。 30,000円

2年申請をされる場合は、2023年10月以降のスケジュールもお書きください。

グループの構成員

氏名	所属	役職	分担*
自然太郎	自然大学大学院	教授	責任者（申請者）
●● ●●	自然大学大学院	博士後期課程1年	副責任者
●● ●●	自然大学		会計責任者

グループの最低人数は3名とし、代表者は副責任者または会計責任者を兼任しないでください。

申請者がその任を負えなくなったときに、このプロジェクト遂行の責任を負っていただける方を副責任者としてください。

大学の研究者が申請代表者となる場合、大学事務員を会計責任者とすることができます。ただし、申請グループの一員という扱いになるため、一般管理費（オーバーヘッド）の支出は認められません。大学への寄附手続きは当財団では行いません。会計処理が困難となる場合、可能であればグループ内で会計係を設けるようにしてください。

*プロジェクトの上で担当する役割を記入。（責任者、副責任者、会計責任者を必ず決めて下さい。）

これまでの研究実績・発表実績

申請代表者の略歴（過去を含めた所属先や最終学歴など）をお書きください。

XXXX年	自然大学大学院生物学研究科自然環境学専攻	博士後期課程修了（理学博士）
XXXX年	自然大学附属自然環境センター	研究員 着任
...		

本申請に関連する、代表的かつアクセス可能な研究実績・発表実績3件をお書きください。（申請代表者以外のプロジェクトメンバーのものでも可）

a)	様式（論文の場合）：著者（発表年）、論文タイトル、雑誌名、巻（号）：初めのページ数-終りのページ数 様式（書籍の場合）：著者（出版年）、タイトル、出版社、ページ数
b)	様式（学会・シンポジウム等の発表）：発表者、「題目」、発表した学会名、論文等の番号、場所、発表年月日
c)	

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが、本申請の内容に関連するものに限りませす。

助成金申請状況

1. 現在、同様のテーマで他財団や公的機関の助成金を申請していますか。

機関名	テーマ	金額(万円)

科研費や他財団の助成金への申請は特に禁止していませんが、同様のテーマで重複して採択された場合は必ず当財団にご相談ください。

2. 現在、第33期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成の別の申請に、構成メンバーとして参加していますか。

カテゴリー名	タイトル

申請代表者は、他の申請プロジェクトにおいて申請代表者になることはできません。また、本申請グループが別のテーマで複数応募することをご遠慮ください。

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません。)

I 申請代表者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上 ・

グループとしては応募経験あり (回) ←応募回数をお書き下さい。

II 過去に、申請代表者は本助成の助成金を得たことがありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

グループとしては採択経験あり (回) ←これまでの採択回数をお書き下さい。

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メーリングリスト ・

友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。また、申請書で書きにくかった項目があればお書き下さい。

V プロ・ナトゥーラ・ファンド助成に関するご意見・ご要望があれば、お書き下さい。

VI プロ・ナトゥーラ・ファンド助成で、今後新たに取り組むと良いと思われる自然保護の課題があれば、お書き下さい。

VII 助成採択後、成果発表会の開催形式はどのような形態を希望しますか。

対面 ・ オンライン ・ ハイブリッド (対面+オンライン)

ご協力ありがとうございました。

チェックリスト

- 記入漏れ、記入ミスはありませんか？
- ページ数はアンケートを含め8ページに収まっていますか？
- アンケートは記入しましたか？
- 支出計画書は記入しましたか？